

今庄宿場町の歴史を歩く

令和3年6月9日晴



JR 今庄駅前

先ず目に飛び込んできた大きな酒造を右手に見ながら最初の立ち寄り先は、江戸時代は旅籠であったという築200年で梅肉の老舗の店主に挨拶、美味しい梅ジュースで歓迎を受け歓談。さて、「今庄宿」は、南北1キロに江戸から明治にかけて栄えた宿場町。越前と若狭を結ぶ北国街道の玄関口にあたり当時の風情を感じられる街並みが今もたっぷり残っていました。

「今庄宿」で、タイムスリップ！

私達は重要伝統的建物(重伝建)保存地区に選定目前の今庄へ出かけました。

今庄は鯖江からJRで22分。楽しい電車の旅スタートです。

「今庄駅」に到着するとそこにはベテランの観光ボランティアガイドが笑顔で迎えてくれました。まずは、モダンな駅舎をバックに記念写真、さあー散策の始まりです。



梅肉の老舗 高野由平商店のご主人と記念写真



豪雪地帯故に建物は頑丈で軒先に特徴があります。
当時、この地を行き来する旅人は、今庄宿で疲れを癒し、峠を越えていきました。

明治天皇のお宿や、大名達の宿泊所本陣跡お茶屋馬場跡が整備されています。
明治天皇が座ったであろう玉座にも座らせていただきました。



玉座に座る。女性天皇？

NHK の大河ドラマ「晴天を衝く」が佳境ですが、幕末の元治元年尊王攘夷を訴えるため上京(京都)した水戸天狗党は 12 月 9 日にここ今庄入りし 2 泊、京藤甚五郎家には酒を飲んで氣勢をあげた浪士の刀傷がいまも柱に残されています。その後、一行は敦賀で降伏したのです。

旅の記の終わりに忘れてはならない事、それは美味しいものの事です。

お昼は名物の今庄そばでした。辛めの大根おろしをかけて出てきたそれは格別のもの。歩き疲れて入った甘味処の白玉も評判通りの美味しさでした。



浪士が残した刀傷



越前おろしそば

事前情報で仕入れていた
街道沿いのお肉屋さん特
製のコロッケ、これはお土
産にと全員が求めたので
すが、甘味処でいくつもつ
まみ食いしてしまった方
もありました。

好天に恵まれ、みんな知恵
いっぱい、お腹いっぱいを
思い出に今庄宿を後にし
ました。🚶🚶🚶🚶

真保



楽しい旅の思い出、私の一言。

特に印象に残ったのは、水戸天狗党が今庄宿に刻んだ刀傷！

無念の気持ちがひしひしと……

明治天皇が座られたであろう玉座に座って、威厳を正して写メしたり…

美味しいコロッケをほおぼりながらレトロの街中を散策したり……

楽しかったです！！

大田

